



事務室だより

家庭版

発行:20/12/21

東神楽町共同学校連携事務室長（中学校内：坂田 淳哉）

連絡先

東神楽中学校
83-2413（明石）

東神楽小学校
83-2344（清川）

東聖小学校
83-3055（吉田・土屋）

忠栄小学校
83-3205（長谷川）

志比内小学校
96-2146（松田）

教育委員会
83-5406（米津）

徴収金の収納状況について

昨年度、道内で初めて実施いたしました町内全校の「学校諸費共同徴収」ですが、みなさまのご協力のおかげで、東聖小、忠栄小、志比内小、東神楽中が完納となりました。ご協力に感謝いたします。

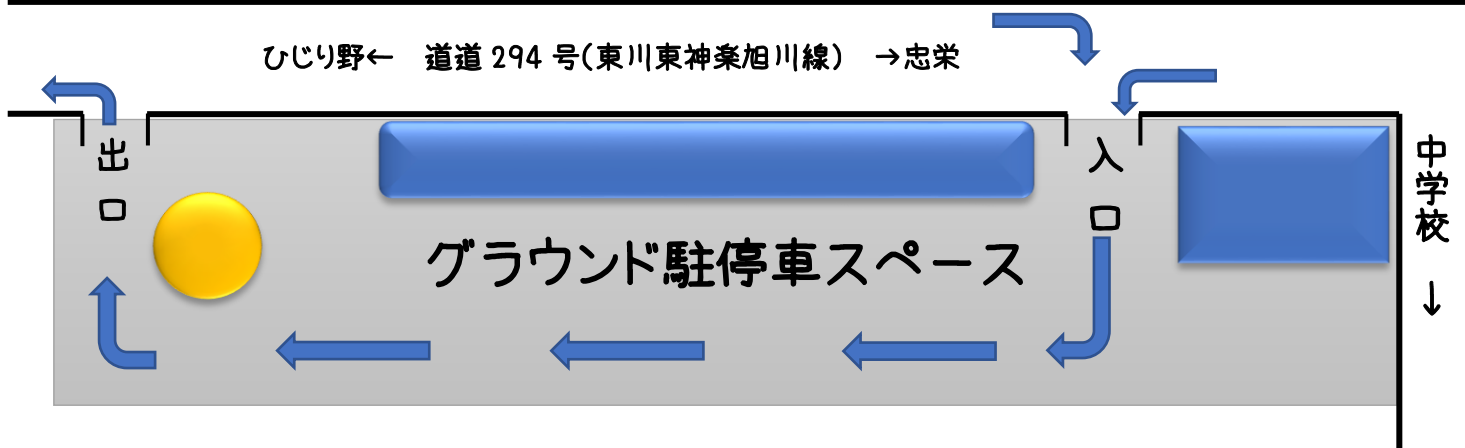
未徴収も町全体で1戸のみで、既にご連絡を差し上げており、この通信が発行されるまでには、完納する予定です。

学校の徴収金は、「完納するまで直接業者へ支払えない」費用や、スキーのリフト代など「集まっていないと授業が成り立たない」費用で構成されています。事務室では、次年度以降も町内全校の徴収業務を担当する予定ですので、これらの事情をご理解いただき、期限までの納入にご協力を、お願いいたします。

送迎時の乗降について(東中)

中学校では、自家用車送迎の乗降について、近隣住民の方への迷惑防止と乗降時の交通事故防止のため、道道沿いグラウンド駐停車場

での乗降をお願いしています。駐停車場の場所が分からないためか、校門前で乗降する車両が増えておりますので、再度、場所をお知らせします。



GIGAスクール構想(全体)

現在のコロナ禍がいずれ終息したとしても、社会全体がリモート活用や地方移転を含めた機能分散へシフトする中、学校においても今回導入される機器やサービスの運用自体は、学習方法の選択肢として使用機会が増えることはあっても、減ることはないでしょう。特に、学校等で長期休業中に実施している学習活動などは、在宅での受講も可能になるでしょう。また、怪我等で学校へ来られない場合も、授業に参加できるようにできるかもしれません。

町の広報「東神楽」11月号、山本町長の「花のまち随想」に、「小中学生に1人1台情報端末(iPad)を貸与して授業等に活用する計画です。」と掲載されていましたが、コロナ禍におけるリモート授業等への対応等も含め、次年度の運用開始を目指し、学校でもテレビ会議サービス(Zoom等)の研修や運用、ネットワーク対応授業運用ソフトの研修等が実施されています。また、各学校では、授業や課外活動の合間を縫って、高速LAN・Wifi設置工事等も進められています。一日でも早く導入できると良いですね。

「児童生徒1人1台コンピュータ」の実現を見据えた施策パッケージ

<ハード> ICT環境整備の抜本的充実

- 児童生徒1人1台コンピュータを実現(1台当たり4.5万円を補助。令和5年度までに、小中全学年で達成)
- 高速大容量の通信ネットワーク(令和2年度までに、全ての小・中・高校・特別支援学校等で校内ネットワークを完備(1/2補助))
- 全国の自治体や学校が、より容易に、より効率的・効果的な調達ができるよう支援(モデル仕様書を提示、都道府県レベルでの共同調達の推進、調達説明会の開催)

誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びの実現に向け、
来年1月、全国の首長・教育長等を対象とした「学校ICT活用フォーラム」を開催し、
ハード・ソフト・指導体制一体で、全国各地での取組を加速化
民間企業等からの支援・協力による、ハード・ソフト・指導体制の更なる充実

<ソフト> デジタルならではの学びの充実

- デジタル教科書・教材など良質なデジタルコンテンツの活用を促進(来年度から順次全面実施となる新学習指導要領とセットで)
- 各教科等ごとに、ICTを効果的に活用した学習活動の例を提示(「教育の情報化に関する手引」を公表・周知)
- AIドリルなど先端技術を活用した実証を充実(来年度中に「先端技術利活用ガイドライン」を策定)

<指導体制> 日常的にICTを活用できる体制

- (独)教職員支援機構による、各地域の指導者養成研修の実施(来年1月に実施)
- ICT活用教育アドバイザーによる、各都道府県での説明会・ワークショップの開催(来年度から全都道府県に配置)
- ICT支援員など、企業等の多様な外部人材の活用促進(令和4年度までに、ICT支援員は4校に1人程度配置)

今後の主な 検討課題

- ✓ 教師の在り方や果たすべき役割、指導体制の在り方、ICT活用指導力の向上方策(今年度中を目途に方向性)
- ✓ 先端技術の活用等を踏まえた年間授業時数や標準的な授業時間等の在り方、学年を超えた学び(早急に検討)
- ✓ デジタル教科書の今後の在り方(来年度中を目途に方向性)